

2007年6月14日

研究再委託先公募のお知らせ

早稲田大学 IT 研究機構 音声認識基盤技術研究所

早稲田大学 IT 研究機構では、経済産業省より、平成19、20年度戦略的技術開発委託費（情報家電センサー・ヒューマンインターフェイスデバイス活用技術開発＜音声認識基盤技術の開発＞に係るもの）を受託し研究・開発を進めております。本事業では、だれもが、どこでも、簡単に扱える、使いやすい音声インターフェイスの実現を目的とし、① 音声分離技術の開発、② 音声／非音声判別技術の開発、③ 高精度デコーダ技術の開発、④ 多言語化技術の開発、⑤ 高次言語モデル利用技術の開発、⑥ 音声インターフェイス構築支援技術の開発、⑦ 総合実証評価、等を行っております。

今回、上記のテーマのうち、②の「音声／非音声判別技術の開発」について、再委託先を公募します。従来音声認識においては、音声区間の切り出しが雑音等の影響でうまくいかず、認識率の低下、システムの誤動作の大きな原因になっていました。そこで、情報家電の利用が想定される生活環境下での雑音を対象として、雑音と音声混じった信号から、人間の声が含まれる部分を精度良く抽出する技術の開発を担当する企業を募集します。

下記の要領に従い、応募ください。

以上

記

1. 期間

平成19年7月より平成21年3月末日まで

2. 予算

年度当り3000万程度

3. 研究・開発の条件

以下のテーマで研究・開発を進め、最終的には95%以上の利用者で、95%以上のタスク達成を実現するために必要とされる音声／非音声判別技術を実現すること

- (A) 生活環境下における方式開発・評価用のデータベースの整備
- (B) 音声／非音声を判別する基本方式の開発
- (C) FST デコーダとの連携方式の開発

4. 申請書の内容

申請書には以下の内容を含めること

- a) 研究開発内容
- b) 各年度の研究開発計画と目標
- c) 研究開発体制
- d) 予算内訳
- e) 申請者の開発能力を示す資料

5. 申請書部数

20 部

6. 提出先

169-8555 新宿区大久保 3-4-1 早稲田大学理工学部 小林哲則 行

7. 提出締切

7月6日

8. その他

- ・ 必要に応じて7月12日にヒアリングを行います。応募者は準備をしておいてください。
- ・ 本件問い合わせ先：offering@pcl.cs.waseda.ac.jp